

福井県嶺南地域流域検討会【第27回】 議事概要

日時：平成29年3月15日（水）13:30～16:00

場所：若狭町歴史文化館（上中町公民館）2階講堂



◆ 委員からの主な意見

1. 嶺南東部地域の河川整備計画の点検

- 笙の川は土砂供給が非常に多いのか。河口域が魚類の産卵場所になっていることを考えると、土砂の堆積がどのくらいのスピードなのかを把握する必要がある。
- 土砂の堆積について、供給量そのものをはっきりつかみきれていないが、河口部においては、毎年堆積傾向にある。豪雨もしくは災害の発生によってばらつきはある。
- 川から持ち出した土砂には外来種などの種が含まれている可能性があるため、しっかりと土砂のモニタリングを行ってほしい。
- そうしたことがなかなかできていない現状があり、今一度考えていきたいと思う。
- 魚道の改修事例について、既存のものに少し手を加え、連続性を早く回復するというのを今後も進めてもらいたい。保全する生物などを明確にして措置を行ってほしい。
- 県と地域住民の方々との日常的なコミュニケーションによって河川パトロールの価値が変わってくると思う。地域の方々との縁が疎遠にならないようにしてほしい。

2. 北川水系河川整備計画（県管理区間）の変更

- 輪中堤を整備することで、他の地域の浸水が増えてしまうことはないのか。
- 霞堤により浸水しているエリアだが、輪中堤のエリアと比較して非常に大きい面積となっており、江古川区を囲うだけではそんなに大きく浸水深が増えるということはないと考えている。

- 輪中堤を整備することで、山から流出する雨水をせき止めてしまうことになるのではないか。
 - 山側の斜面と集落との間に市道があり、小浜市と協議中ではあるが、市道の側溝を大きくして山からの水を流す計画をしている。

- 輪中堤の中に想定を超える雨が降った場合には、浸水してしまうのではないか。避難経路などを整備する必要があるのではないか。
 - 輪中堤の中に降った雨で浸水するまでには、かなりの時間があると考えているので、今使っている道路などにより避難する時間については十分にあると考えている。

- 輪中堤の管理は誰が担当するのか。住民の方々に協力してもらえば、早めに協議を行って決める必要がある。
 - 輪中堤自体は県が管理するが、樋門などをつくった場合に、門の開閉については管理を地元でお願いしたいと考えており、今後協議していく。